

平成 29 年度の研修が終了しました

3月3日・4日(土・日) 看護研修センター

糖尿病重症化予防（フットケア）研修 というテーマで、糖尿病看護認定看護師 5名と和歌山県立医科大学附属病院 古田 浩人 講師、大阪大学医学部附属病院 藤原 優子 講師による研修会に、28名の参加があった。

この研修は診療報酬に関わる研修であり、糖尿病療養指導士の認定更新研修でもある。2日間で16時間の研修を行うため、非常に疲れる研修であったと思うが、皆さん熱心に受講していた。

また、2日間通して講師をしてくれた認定看護師の5名は、研修までに数回と当日の朝に再度打ち合わせをしてくれた。終了後には反省会も行ってくれた。

研修中は講義やグループになって事例のアセスメントを行い、看護計画を立案。そして演習を行った。

演習では2人1組になって足の観察から始まり、ケアとして角質の取り方・爪のケア・爪切りまで細かい指導を受ける。また、それぞれ疑問点や器具の購入方法、代替え商品などの質問を行い技術を身につけていた。

全員が修了証を受取ることができた。

受講生にとって充実した2日間であったと思う。





《 講義の様子 》



《 グループワークの様子 》





《 足の観察 打鍵器・モノフィラメント・ゾンデを使用するの演習の様子 》



《 グループワーク後の発表 》



《 2日目に宿題であったそれぞれの課題を発表 》



《 最後に金本認定看護師と藤原先生でまとめを行ってくれた 》

- ※ 平成 29 年度の研修がすべて終了しました。
平成 30 年度も皆さまのキャリアアップにつながるような研修を心掛けたと思います。
皆さまの研修参加をお待ちしています。

和歌山県看護協会
教育担当者一同